

IV. 防疫措置

1. 告示

県は昭和61年10月4日の豚コレラ発生決定及び続発により、沖縄県公報で以下の告示をした。

昭和61年10月6日 月曜日

公 報

(号外第31号)



県 章

沖縄県公報

毎週火・金曜日
発行

(当日が休日に
当たるときは、
その翌日)

目 次

告 示

家畜伝染病のまん延を防止するため家畜等及び区域の指定 (畜産課) 1

告 示

沖縄県告示第677号

家畜伝染病予防法施行細則 (昭和47年沖縄県規則第80号) 第15条第1項の規定により、県内での移動及び県外への移出を禁止する家畜等並びに区域を次のとおり指定する。

昭和61年10月6日

沖縄県知事 西 銘 順 治

1 指定する家畜等

豚及び豚の死体並びに豚コレラの病原体をひろげるおそれのある物品

2 指定する区域

本部町字辺名地及び名護市字済井出

3 禁止期間

当分の間

沖縄県告示第688号

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第13条第4項の規定により、名護市長及び本部町長から次のとおり家畜伝染病が発生した旨の届出があった。

昭和61年10月8日

沖縄県知事 西 銘 順 治

発生伝染病の種類	家畜の種類	患畜、疑似患畜の別	頭数	発生場所 (区域)	発生年月日
豚コレラ	豚	患畜	618	本部町字辺名地	昭和61年10月4日
豚コレラ	豚	患畜	858	名護市字済井出	昭和61年10月4日

沖縄県告示第689号

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第13条第4項の規定により、具志川市長から次のとおり家畜伝染病が発生した旨の届出があった。

昭和61年10月9日

沖縄県知事 西 銘 順 治

発生伝染病の種類	家畜の種類	患畜、疑似患畜の別	頭数	発生場所 (区域)	発生年月日
豚コレラ	豚	患畜	141	具志川市字具志川	昭和61年10月8日

沖縄県告示第690号

家畜伝染病予防法施行細則（昭和47年沖縄県規則第80号）第51条第1項の規定により、県内での移動及び県外への移出を禁止する家畜等並びに区域を次のとおり指定する。

昭和61年10月9日

沖縄県知事 西 銘 順 治

- 1 指定する家畜等
豚及び豚の死体並びに豚コレラの病原体をひろげるおそれのある物品
- 2 指定する区域
具志川市字具志川
- 3 禁止期間
当分間

沖縄県告示第706号

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第13条第4項の規定により、糸満市長、東風平町長、

南風原町長、本部町長及び名護市長から次のとおり家畜伝染病が発生した旨の届出があった。

昭和61年10月11日

沖縄県知事 西 銘 順 治

発生伝染病の種類	家畜の種類	患畜、疑似患畜の別	頭 数	発 生 場 所 (区域)	発 生 年 月 日
豚コレラ	豚	患 畜	34	糸満市字座波	昭和61年10月9日
豚コレラ	豚	患 畜	42	東風平町字志多伯	昭和61年10月10日
豚コレラ	豚	患 畜	19	南風原町字喜屋武	昭和61年10月10日
豚コレラ	豚	患 畜	262	本部町字辺名地	昭和61年10月8日
			214	本部町字辺名地	昭和61年10月9日
豚コレラ	豚	患 畜	177	名護市字済井出	昭和61年10月8日
			51	名護市字済井出	昭和61年10月9日

沖縄県告示第707号

家畜伝染病予防法施行細則（昭和47年沖縄規則第80号）第15条第1項の規定により、県内での移動及び県外への移出を禁止する家畜等並びに区域を次のとおり指定する。

昭和61年10月11日

沖縄県知事 西 銘 順 治

指定する家畜等

豚及び豚の死体並びに豚コレラの病原体をひろげるおそれのある物品

指定する区域

糸満市字座波、賀数、照屋、阿波根

東風平町字志多伯、当銘、小城

南風原町字喜屋武

禁止期間

当分の間

沖縄県告示第708号

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第13条第4項の規定により、糸満市長から次のとおり家畜伝染病が発生した旨の届出があった。

昭和61年10月13日

沖縄県知事 西 銘 順 治

発生伝染病の種類	家畜の種類	患畜、疑似患畜の別	頭数	発生場所 (区域)	発生年月日
豚コレラ	豚	患畜	24	糸満市字阿波根	昭和61年10月11日

沖縄県告示第718号

家畜伝染病予防法（昭和26年法律第166号）第13条第4項の規定により、名護市長及び本部町長から次のとおり家畜伝染病が発生した旨の報告があった。

昭和61年10月16日

沖縄県知事 西 銘 順 治

発生伝染病の種類	家畜の種類	患畜、疑似患畜の別	頭数	発生場所 (区域)	発生年月日
豚コレラ	豚	患畜	281	名護市字済井出	昭和61年10月15日
豚コレラ	豚	患畜	191	本部町字辺名地	昭和61年10月15日

沖縄県告示第774号

昭和61年沖縄県告示第677号、690号及び707号（家畜伝染病のまん延を防止するための家畜及び区域の指定）で告示した指定区域を次のとおり変更する。

昭和61年11月13日

沖縄県知事 西 銘 順 治

変 更 前	変 更 後
本部町字辺名地	本部町字辺名地1434
名護市字済井出	名護市字済井出160-9
具志川市字具志川	具志川市字具志川3159-4
糸満市字座波、賀数、照屋、阿波根	糸満市字座波611、字阿波根1290-2
東風平町字志多伯、当銘、小城	東風平町字志多伯299-2
南風原町字喜屋武	南風原町字喜屋武47

沖縄県告示第780号

昭和61年沖縄県告示第677号、690号及び707号で告示した家畜伝染病のまん延を防止するための家畜及び区域の指定は、解除する。

昭和61年11月19日

沖縄県知事 西 銘 順 治

2. 発生速報

豚 コ レ ラ 発 生 速 報 (都道府県名 発生農家No.)									
沖繩県 1									
発 生 場 所		名護市字済井出49				氏 名	長 浜 吉 典		
決 定 月 日		61. 10. 6		家畜保健衛生所名		北部家畜保健衛生所			
飼 養 状 況			発生頭羽数	転 帰 内 訳				ワクチン接種状況	
飼養区分	月(日)令体重	頭 羽 数		死 亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺		
種 雄 豚		6	0	0				10/6~7日接種済	
種 雌 豚		104	23	5	2	16	0	"	
哺 乳 豚		134	0	0					
育 成 豚		588	264	215	3	46	0	10/6~7日接種済	
肉 豚		1,252	313	249	2	62	0	"	
計		2,084	600	469	7	124	0		
発 生 経 過		10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけて緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査, 解剖所見の結果豚コレラと10月6日に決定した。							
臨 床 症 状		発熱(40.5~42℃)元気及び食欲廃絶, 歩様蹠踉, 泥状下痢, 黄色水様下痢, 嘔吐, 腹式呼吸, 眼瞼腫脹, 眼結膜充血, 便秘, 神経症状(前肢の空中浮遊運動), チアノーゼ(耳翼, 顔面, 腹部, 臀部, 腋下部等)を呈する。							
剖 検 所 見		心…心のう水増量, 心腫大, 腎…腫大, 針状出血 膀胱…赤色斑密発, 点状出血, リンパ節…水腫性腫大, 充出血辺縁性出血							
その他の検査成績		臨床所見, 解剖所見により決定した。							
移 動 制 限 地 域		名護市字済井出地域		戸 数	10戸		頭 羽 数	6,514頭	
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)		(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤, ヨード剤, 石灰剤による畜舎, 汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法, 焼却埋却場所)		発生豚については全て10月6日殺処分し, 埋却した。							
備 考									

豚 コ レ ラ 発 生 速 報 (都 道 府 県 名 発 生 農 家 No.)
 沖 縄 県 1

発 生 場 所 名護市字済井出49 氏 名 長 浜 吉 典

決 定 月 日 61. 10. 8 家畜保健衛生所名 北部家畜保健衛生所

飼 養 状 況			発生頭羽数	転 帰 内 訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(回)令体重	頭 羽 数		死 亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺	
種雄豚		6	0	0				接種済10/6~7
種雌豚		81	0	0				"
哺乳豚		134	0	0				
育成豚		324	20	0	2	18	0	接種済 "
肉 豚		939	24	0	0	24	0	"
小 計		1,484	44	0	2	42	0	
累 計		1,484	644	469	9	166	0	

発 生 経 過 10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけて緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査, 解剖所見の結果豚コレラと10月8日に決定した。

臨 床 症 状 発熱(40.5~42℃)元気及び食欲廃絶, 歩様蹠跟, 泥状下痢, 黄色水様下痢, 嘔吐, 腹式呼吸, 眼瞼腫脹, 眼結膜充血, 便秘, 神経症状(前肢の空中浮遊運動), チアノーゼ(耳翼, 顔面, 腹部, 臀部, 肢下部等)を呈する。

剖 検 所 見 心...心のう水増量, 心腫大, 腎...腫大, 針状出血
 膀胱...赤色斑密発, 点状出血,
 リンパ節...水腫性腫大, 充出血辺縁性出血

その他の検査成績 臨床所見, 解剖所見により決定した。

移動制限地域	名護市字済井出地域	戸数	10戸	頭羽数	6,514頭
--------	-----------	----	-----	-----	--------

注射・消毒等の措置 (措置予定も含む) (1)発生豚舎に対する予防注射の実施
 (2)オルソ剤, ヨード剤, 石灰剤による畜舎, 汚染の疑いある物品の消毒

発生家畜の処分 (処分方法, 焼却埋却場所) 発生豚については全て10月8日殺処分し, 埋却した。

備 考

豚 コ レ ラ 発 生 速 報 (都道府県名 発生農家No.)
 沖 縄 県 2

発 生 場 所	名護市字済井出117			氏 名	宮 城 善 一			
決 定 月 日	61. 10. 6	家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所					
飼 養 状 況			発生頭羽数	転 帰 内 訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(日)令体重	頭 羽 数		死 亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺	
種 雄 豚		4	0	0				9月25日接種済
種 雌 豚		62	0	0				"
哺 乳 豚		314	0	0				
育 成 豚	10~90	174	148	92	2	54	0	10月5~7日接種済
肉 豚		1,088	56	23	2	31	0	"
計		1,642	204	115	4	85	0	
発 生 経 過		10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけて緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査，解剖所見の結果豚コレラと10月6日に決定した。						
臨 床 症 状		発熱(40.5~42℃)元気及び食欲廃絶，歩様蹠跟，泥状下痢，黄色水様下痢，嘔吐，腹式呼吸，眼瞼腫脹，眼結膜充血，便秘，神経症状(前肢の空中浮遊運動)，チアノーゼ(耳翼，顔面，腹部，臀部，腋下等)を呈する。						
剖 検 所 見		心…心のう水増量，心腫大，腎…腫大，針状出血						
		膀胱…赤色斑密発，点状出血， リンパ節…水腫性腫大，充出血辺縁性出血						
その他の検査成績		臨床所見，解剖所見により決定した。						
移 動 制 限 地 域	名護市字済井出地域	戸 数	10戸	頭 羽 数	6,514頭			
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤，ヨード剤，石灰剤による畜舎，汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法，焼却埋却場所)	発生豚については全て10月6日殺処分し，埋却した。							
備 考								

豚 コ レ ラ 発 生 速 報 (都道府県名 発生農家No.)
 沖縄県 2

発 生 場 所 名護市字済井出117 氏 名 宮 城 善 一

決 定 月 日 61. 10. 8 家畜保健衛生所名 北部家畜保健衛生所

飼 養 状 況			発生頭羽数	転 帰 内 訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(年)令体重	頭 羽 数		死 亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺	
種 雄 豚		4	0	0			} 9月25日 " 接種済 10月5~7日接種済 "	
種 雌 豚		62	0	0				
哺 乳 豚		314	0	0				
育 成 豚		26	0	0				
肉 豚		1,032	34	0	1	33		0
小 計								
累 計		1,438	238	115	5	118	0	

発 生 経 過 10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけて緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月8日に決定した。

臨 床 症 状 発熱(40.5~42℃)元気が及び食欲廃絶、歩様蹣跚、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下等)を呈する。

剖 検 所 見 心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血
 膀胱…赤色斑密発、点状出血、
 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血

その他の検査成績 臨床所見、解剖所見により決定した。

移 動 制 限 地 域	名護市字済井出地域	戸 数	10戸	頭 羽 数	6,514頭
-------------	-----------	-----	-----	-------	--------

注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)
 (1)発生豚舎に対する予防注射の実施
 (2)オルソ剤, ヨード剤, 石灰剤による畜舎, 汚染の疑いある物品の消毒

発生家畜の処分 (処分方法, 焼却埋却場所)
 発生豚については全て10月8日殺処分し、埋却した。

備 考

豚コレラ 発生速報

(都道府県名 発生農家No)
 沖縄県 3

発生場所	名護市字済井出53				氏名	宮城 貢		
決定月日	61. 10. 6		家畜保健衛生所名	北部家畜保健衛生所				
飼養状況			発生頭羽数	転帰内訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(日)令体重	頭羽数		死亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺	
種雄豚		4	0	0				} 9月24日接種済
種雌豚		59	0	0				
哺乳豚		250	0	0				
育成豚		53	0	0				} 10月5~7日接種済
肉豚		305	46	3	2	41	0	
計		671	46	3	2	41	0	
発生経過	10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけて緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査, 解剖所見の結果豚コレラと10月6日に決定した。							
臨床症状	発熱(40.5~42℃) 元気が及び食欲廃絶, 歩様蹠跟, 泥状下痢, 黄色水様下痢, 嘔吐, 腹式呼吸, 眼瞼腫脹, 眼結膜充血, 便秘, 神経症状(前肢の空中浮遊運動), チアノーゼ(耳翼, 顔面, 腹部, 臀部, 腋下部等)を呈する。							
剖検所見	心…心のう水増量, 心腫大, 腎…腫大, 針状出血 膀胱…赤色斑密発, 点状出血, リンパ節…水腫性腫大, 充出血辺縁性出血							
その他の検査成績	臨床所見, 解剖所見により決定した。							
移動制限地域	名護市字済井出地域	戸数	10戸	頭羽数	6,514頭			
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)	(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤, ヨード剤, 石灰剤による畜舎, 汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法, 焼却埋却場所)	発生豚については全て10月6日殺処分し, 埋却した。							
備考								

豚 コ レ ラ 発 生 速 報 (都道府県名 発生農家No.)
 沖 縄 県 3

発 生 場 所		名護市字済井出53				氏 名	宮 城 貢	
決 定 月 日		61. 10. 8		家畜保健衛生所名		北部家畜保健衛生所		
飼 養 状 況			発生頭羽数	転 帰 内 訳				ワクチン接種状況
飼養区分	月(回)令体重	頭 羽 数		死 亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺	
種雄豚		4	0	0			} 9月24日接種済	
種雌豚		59	0	0				
哺乳豚		250	0	0				
育成豚		53	0	0			} 10月5日～7日接種済	
肉 豚		259	35	0	1	34		0
小 計		625	35	0	1	34	0	
累 計		625	81	3	3	75	0	
発 生 経 過		10月4日決定後同居豚に対し10月5～7日にかけて緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月8日に決定した。						
臨 床 症 状		発熱(40.5～42℃)元気及び食欲廃絶、歩様蹠跟、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下等)を呈する。						
剖 検 所 見		心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血						
その他の検査成績		臨床所見、解剖所見により決定した。						
移 動 制 限 地 域		名護市字済井出地域	戸 数	10戸	頭 羽 数	6,514頭		
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)		(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤, ヨード剤, 石灰剤による畜舎, 汚染の疑いある物品の消毒						
発生家畜の処分 (処分方法, 焼却埋却場所)		発生豚については全て10月8日殺処分し, 埋却した。						
備 考								

豚 コ レ ラ 発 生 速 報 (都道府県名 発生農家No.)									
沖繩県 3									
発 生 場 所		名護市字済井出53				氏 名		宮 城 貢	
決 定 月 日		61. 10. 9		家畜保健衛生所名		北部家畜保健衛生所			
飼 養 状 況			発生頭羽数	転 帰 内 訳				ワクチン接種状況	
飼養区分	月(回)令体重	頭 羽 数		死 亡	鑑定殺	命令殺	自衛殺		
種 雄 豚		4	0	0				} 9月24日接種済	
種 雌 豚		59	0	0					
哺 乳 豚		250	0	0					
育 成 豚		53	0	0					
肉 豚		224	51	0	2	49	0	10月5日~7日 "	
小 計		590	51	0	2	49	0		
累 計		590	132	3	5	124	0		
発 生 経 過		10月4日決定後同居豚に対し10月5~7日にかけて緊急予防注射を実施する。経過を継続観察中発生豚舎において発病豚を発見し臨床検査、解剖所見の結果豚コレラと10月9日に決定した。							
臨 床 症 状		発熱(40.5~42℃)元気が及び食欲廃絶、歩様蹠跟、泥状下痢、黄色水様下痢、嘔吐、腹式呼吸、眼瞼腫脹、眼結膜充血、便秘、神経症状(前肢の空中浮遊運動)、チアノーゼ(耳翼、顔面、腹部、臀部、腋下等)を呈する。							
剖 検 所 見		心…心のう水増量、心腫大、腎…腫大、針状出血 膀胱…赤色斑密発、点状出血、 リンパ節…水腫性腫大、充出血辺縁性出血							
その他の検査成績		臨床所見、解剖所見により決定した。							
移 動 制 限 地 域		名護市字済井出地域		戸 数	10戸		頭 羽 数	6,514頭	
注射・消毒等の措置 (措置予定も含む)		(1)発生豚舎に対する予防注射の実施 (2)オルソ剤, ヨード剤, 石灰剤による畜舎, 汚染の疑いある物品の消毒							
発生家畜の処分 (処分方法, 焼却埋却場所)		発生豚については全て10月9日殺処分し, 埋却した。							
備 考									